

2025 年度 学校評価報告書 香里ヌヴェール学院中学校・高等学校

1. 学校目標

地域に愛される学校を目指し、創立以来の目標である「平和の天使」を育成していく。

本校で学ぶ生徒たちが、多様性と課題に満ちたこれからの世界の中で、「神の手足となり、人々の心を平和のうちに繋ぐ人」として仲間のために生きることができるよう、探究学習を軸とした学びを推進する。また、ICT 教育・英語教育・国際教育を通して、知識・情報・知恵を活用しながら仲間と協働し、真の幸せを創造する力を育成する。

2. 学校自己評価

区分	重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
探究学習実践による教育充実（探究・英語教育・ICT 教育）	ICT 教育	ICT 教育実践の推進	①全教員が ICT を活用できる環境が整備されているか。 ②ICT を活用した授業が実践されているか。	○ 一人一台端末環境および全館 Wi-Fi 環境を活用し、ICT を活用した授業実践を継続した。ロイロノート等を活用した教材配信や意見共有は定着している。一方で、生徒アンケートではスタディサプリの活用不足が見られ、自学自習の習慣形成が今後の課題として明らかとなった。
	英語教育	英語教育の充実を図る	①国際教育が実施できたか。 ②コミュニケーションを重視した授業が実践できたか。	○ ネイティブ教員を中心に、コミュニケーション活動を重視した授業を継続した。探究活動との連携により、生徒が自ら英語で発信する機会を確保できた。異文化理解と実践的英語運用能力の育成に一定の成果が見られた。
	探究学習	探究学習の充実を図る	①課題発見・課題解決型学習が実践できたか。 ②フィールドワーク等の校外活動が実施できたか。	○ 探究活動を教育活動の柱として継続した。外部機関との連携やフィールドワークを実施し、生徒が社会との関わりの中で主体的に学ぶ機会を充実させることができた。プレゼンテーション能力や協働力の向上も見られた。
教育のレベル向上	教員研修の実施	教職員の資質向上を図る	①ICT 研修を実施したか。 ②宗教研修・人権研修を実施したか。	○ ICT 研修、宗教研修、人権研修を実施した。基礎的な知識・技能の定着については一定の成果が見られたが、学習意欲に関する評価は十分とは言えず、主体的な学びを促進する授業改善が今後の課題である。
教育環境の整備	安全・安心・快適な環境づくり	教育環境の整備と保護者連携の充実	①安全で快適な教育環境が整備できたか。 ②保護者との連携強化が図れたか。	○ 安全・安心な教育環境の維持に努めた。また、ミマモルメ・Classi 等を活用した情報発信により、保護者との連携を強化することができた。保護者アンケートでも高い評価を得ており、学校への信頼向上につながった。

3. 学校関係者評価

本校の特色である探究学習、ICT 教育、カトリック精神に基づく人間教育について高い評価が示された。特に、探究学習を通じた主体性や表現力の育成、ロイロノートを活用した学習活動や保護者との連携体制が評価された。

一方で、スタディサプリの活用促進や ICT ツールの活用方法に関する保護者への周知、教職員の負担に配慮した ICT 運用ルールの整備が課題として挙げられた。

また、生徒の学習意欲や自己肯定感を高める教育のさらなる充実、安全で快適な学校環境の維持、施設利用環境の改善について継続的な取組が期待されるとの意見が示された。

総じて、本校の教育活動は良好に実践されており、今後も特色ある教育の充実と課題改善に取り組むことが望まれるとの評価を受けた。

4. 次年度に向けた改善方策

- ・探究学習と教科学習の連携を強化し、生徒の学習意欲向上を図る。
- ・スタディサプリ等の ICT ツールの活用を促進し、自学自習習慣の定着を目指す。
- ・教育相談体制や個別支援を充実させ、生徒一人ひとりに寄り添った指導を推進する。
- ・安全・安心な教育環境の整備と、保護者との連携強化に努める。
- ・カトリック精神に基づく人間教育を継続し、思いやりと協働の心を育成する。